

Synology®

**Synology RackStation RC18015xs+**

**拡張装置 RXD1215sas**

クイックインストールガイド

# 目次

## 第1章：はじめる前に

パッケージ内容.....	3
パーツ位置.....	5
安全のために.....	8

## 第2章：ハードウェアの設定

ドライブの装着に必要なツールと部品.....	9
Synology RXD1215sas にドライブをインストールする.....	9
Synology RC18015xs+ との接続.....	12

## 第3章：DSM を RackStation にインストールする

Web Assistant を使って DSM をインストールする.....	14
接続の確定とストレージスペースの管理.....	16
詳細情報.....	17

## 第4章：メンテナンスと拡張

RC18015xs+.....	18
ネットワークインターフェイスカードを RackStation に追加する.....	18
RAM モジュールを RackStation に追加する.....	21
故障した PSU を交換する.....	23
故障したファンモジュールを交換する.....	24
故障した RackStation の交換.....	25
RXD1215sas.....	26
HA クラスタにさらに多くの拡張装置を追加.....	26
故障した PSU を交換する.....	27
故障した SAS モジュール / ファンを交換する.....	27

## 付録 A：仕様

## 付録 B：LED インジケータ表

Synology\_QIG\_RC18015xs+\_RXD1215sas\_20181225

# はじめる前に




Synology RackStation RC18015xs+ / RXD1215sas をご購入いただきありがとうございます。新しい RackStation/ 拡張ユニットの設定を始める前に、次のアイテムがパッケージに含まれていることを確認してください。\* また、ケガや Synology 製品の故障を避けるために、安全のために最後までよくお読みください。次の章では、RackStation と拡張ユニットを設定したり、使用したりするための説明をします。







\* Synology RackStation **RC18015xs+** および **RXD1215sas** 拡張装置は別売りです。

**注意：** RC18015xs+ は high-availability (HA) クラスタとして機能するように設計されています。システムを構築し、正常に機能させるには、**2台の RC18015xs+** と**最低1台の RXD1215sas 拡張装置**が必要です。

## パッケージ内容

### RC18015xs+

本体 x 1	AC 電源コード x 2
	 クイックインストールガイド 1 冊
	

<p><b>拡張ユニット 1 台</b></p>		<p><b>AC 電源コード x 2</b></p>
		
		<p><b>クイックインストールガイド 1 冊</b></p> 
<p><b>3.5"ドライブ用 ネジ x 52 個</b></p>	<p><b>2.5"ドライブ用 ネジ x 52 個</b></p>	<p><b>Mini-SAS ケーブル 2 本</b></p>
		



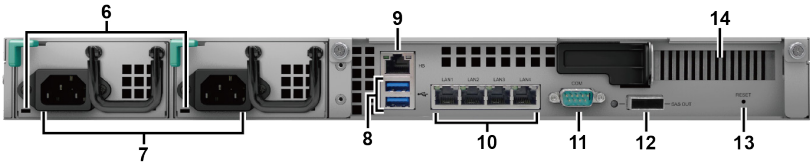
# パーツ位置

## RC18015xs+

正面



戻る



番号	部品名	位置	説明
1	電源ボタンとインジケータ	正面	1. RackStation の電源を入れます。 2. RackStation の電源を切るには、警告音が鳴り電源 LED が点滅するまで押し続けてください。 詳細は <b>付録 B : RC18015xs+ の LED インジケータ表</b> (ページ 33) を参照してください。 .
2	STATUS インジケータ		システムの状態を示します。詳細は <b>付録 B : RC18015xs+ の LED インジケータ表</b> (ページ 33) を参照してください。 .
3	ALERT インジケータ		ファンまたは温度状態に関する警告を示します。詳細は <b>付録 B : RC18015xs+ の LED インジケータ表</b> (ページ 33) を参照してください。 .
4	HA インジケータ		high-availability (HA) クラスタの状態を表示します。詳細は <b>付録 B : RC18015xs+ の LED インジケータ表</b> (ページ 33) を参照してください。 .
5	警告音停止ボタン		故障が発生したとき鳴った警告音を止めます。
6	PSU インジケータ	戻る	電源装置の状態を表示します。詳細は <b>付録 B : RC18015xs+ の LED インジケータ表</b> (ページ 33) を参照してください。 .
7	電源ポート		電源コードを繋ぎます。

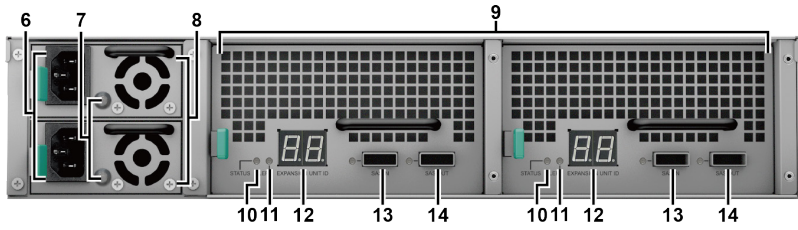
番号	部品名	位置	説明
8	USB 3.0 ポート	戻る	外部ドライブを RackStation に繋ぎます。 <b>注意：</b> ストレージ以外の装置には対応していません。USB 外部ドライブは、アクティブ サーバーとして機能している RackStation でしか使用できません。詳細は [DiskStation Manager (DSM) ヘルプ ] > [High Availability Manager] を参照してください。
9	Heartbeat LAN ポート		RJ-45 コードで別の RackStation RC18015xs+ を繋ぎ、HA クラスタを構築します。
10	LAN ポート		ネットワークケーブルを繋ぎます。
11	コンソールポート		このポートは製造段階でのみ使用します。
12	SAS-OUT ポート		mini-SAS ケーブルで拡張装置の SAS-IN ポートと繋がります。
13	RESET ボタン		<ol style="list-style-type: none"> <li>警告音が聞こえるまで押し続けると、<b>admin</b> アカウントのデフォルトの IP アドレス、DNS サーバー、パスワードが復元します。</li> <li>警告音が聞こえるまで押し続け、さらに 3 回警告音が聞こえるまで再び押し続けると、DSM が RackStation を再インストールできるように、RackStation がインストールされていない状態に戻されます。</li> </ol>
14	PCI Express 拡張スロット	PCIe x8 アドオンネットワークインターフェイスカードに対応しています。詳細は第 4 章：Attach a Network Interface Card to the RackStation( ページ 18) を参照してください。	

## RXD1215sas

正面



戻る



番号	部品名	位置	説明
1	電源ボタンとインジケータ	正面	拡張装置の電源を手動で入れます。 <b>注意：</b> 拡張装置が HA クラスタ内で稼働しているときには、電源ボタンを押してもこれを強制シャットダウンすることはできません。
2	ALERT インジケータ		ファンまたは温度状態に関する警告を示します。詳細は <b>付録 B：RXD1215sas の LED インジケータ表</b> (ページ 34) を参照してください。 .
3	警告音停止ボタン		故障が発生したとき鳴った警告音を止めます。
4	ドライブステータスインジケータ		ドライブの状態を示します。詳細は <b>付録 B：RXD1215sas の LED インジケータ表</b> (ページ 34) を参照してください。 .
5	ドライブトレイ		ここにドライブ (ハードディスクドライブかソリッドステートドライブ) を装着します。
6	電源ポート	戻る	電源コードを繋ぎます。
7	PSU インジケータ		電源の状態を示します。詳細は <b>付録 B：RXD1215sas の LED インジケータ表</b> (ページ 34) を参照してください。 .
8	PSU ファン		熱気を排出して、電源 (PSU) を冷却します。
9	SAS モジュール		それぞれのモジュールは、別の拡張装置の側でも RackStation または SAS モジュールに繋がります。
10	STATUS インジケータ		モジュールの状態を示します。詳細は <b>付録 B：RXD1215sas の LED インジケータ表</b> (ページ 34) を参照してください。 .
11	ALERT インジケータ		モジュールについての警告を表示します。詳細は <b>付録 B：RXD1215sas の LED インジケータ表</b> (ページ 34) を参照してください。 .
12	拡張装置 ID インジケータ		拡張装置の ID 番号を表示します。
13	SAS-IN ポート		RackStation または別の拡張装置の SAS-OUT ポートに繋がります。
14	SAS-OUT ポート		別の拡張装置の SAS-IN ポートに繋がります。

## 安全のために

	製品は直射日光から避け、化学薬品の近くに置かないでください。温度や湿度が急激に変化しないようにしてください。
	製品は常に正しい方向に設置してください。
	液体を近くに置かないでください。
	お手入れの際は、必ず電源コードを先に抜いてください。湿ったペーパータオルで拭いてください。化学クレンザーやエアゾールはご使用にならないでください。
	ユニットが倒れる可能性があるため、カートや不安定な場所には設置しないでください。
	電源コードは適切な電圧に差し込んでください。AC 電圧の供給が正しく安定していることを確認してください。
	デバイスへの電力供給を完全に停止するには、電源からすべての電源コードを外してください。
	指定されたタイプ以外のバッテリーを使用すると、爆発する危険性があります。使用済みバッテリーは規則に従って正しく処理してください。

# ハードウェアの設定

## ドライブの装着に必要なツールと部品

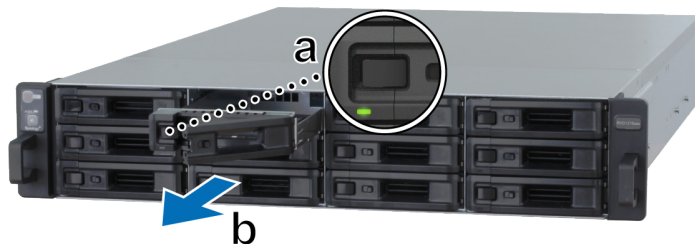
- ネジ回し
- SAS ドライブ (3.5 インチまたは 2.5 インチ) **3 台以上** (ドライブのモデルの互換性については [www.synology.com](http://www.synology.com) を参照してください。)

### 警告：

1. データが保存されているドライブを取り付けると、システムはドライブを初期化してすべてのデータを消去します。データが必要な場合は、データをバックアップしてから取り付けてください。
2. SATA ドライブは RXD1215sas ではサポートされていません。

## Synology RXD1215sas にドライブをインストールする

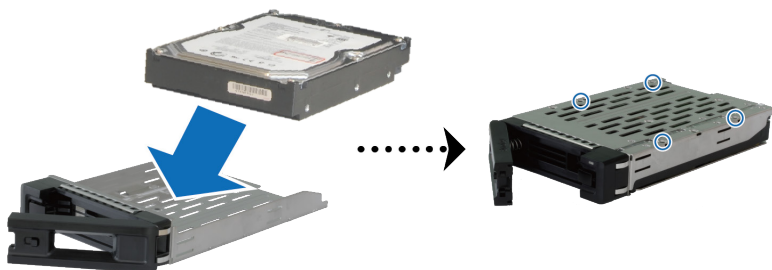
- 1 ドライブトレイを開きます。



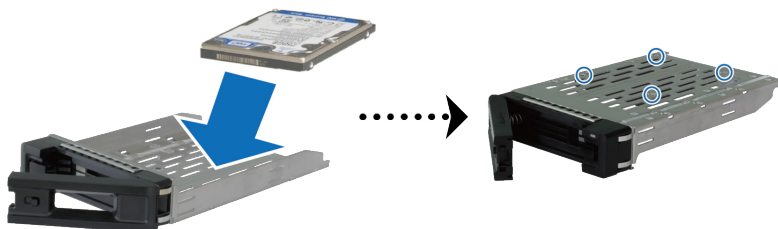
- a ドライブトレイの取っ手の左側に小さいボタンがあります。このボタンを押すと、ドライブトレイの取っ手が手前に出てきます。
- b 上記図のように、ドライブトレイの取っ手を引き出します。

## 2 ドライブの装着：

- ・ **3.5" ドライブの場合：**ドライブトレイにドライブを置きます。下に示すように、トレイを裏返して4個のネジでディスクを固定します。



- ・ **2.5" ドライブの場合：**ドライブトレイにドライブを置きます。下に示すように、トレイを裏返して4個のネジでディスクを固定します。



## 3 ドライブを載せたドライブトレイを空のドライブベイに挿入します。



### 注意：

1. トレイが奥までしっかり押し込まれているか確認してください。これを怠ると、ドライブは適切に機能しないことがあります。
2. RackStation RC18015xs+ に HA クラスタを構築するには、拡張装置に **3 台以上** のドライブが必要です。

- 4 取っ手を押して、ドライブトレイを固定します。
- 5 ドライブトレイの取っ手のスイッチを左に切り換えると、ドライブトレイがロックされます。



- 6 上記手順を繰り返して準備した他のディスクを組み立てます。
- 7 下図に示すように、ドライブには番号が付いています。



**注意：**RAID ボリュームを構築する場合は、取り付けたすべてのディスクを同じサイズにして、ディスク容量を最も有効に使えるようにしてください。

## Synology RC18015xs+ との接続

- 1 本以上の LAN ケーブルを使って各 RackStation 装置とスイッチ、ルーター、ハブに繋がります。

**注意：** HA クラスターの両方の RackStation は、同じ方法でネットワークに接続してください。例えば、2 本の LAN ケーブルを使って RackStation の LAN 1 ポートと LAN 3 ポートに繋いだ場合、別の RackStation の LAN 1 ポートと LAN 3 ポートにも 2 本の LAN ケーブルを使ってネットワークに繋いでください。

- 2 LAN ケーブルで RackStation の Heartbeat LAN ポートと、他の RackStation の Heartbeat LAN ポートを繋がります。

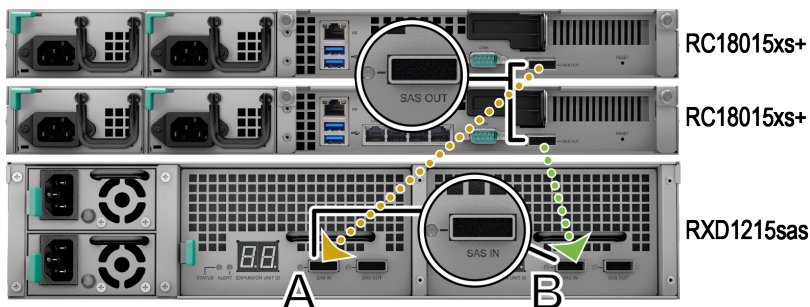


- 3 電源コードの端を RackStation と拡張装置の電源ポートに接続し、もう片方をコンセントに差し込みます。





#### 4 両方の RackStation と拡張装置を mini-SAS ケーブルで繋ぎます。



- a mini-SAS ケーブルの端を RackStation の SAS-OUT ポートに繋ぎ、もう片方を拡張装置の **SAS モジュール A** の SAS-IN ポートに繋ぎます。
- b mini-SAS ケーブルの端を RackStation の SAS-OUT ポートに繋ぎ、もう片方を拡張装置の **SAS モジュール B** の SAS-IN ポートに繋ぎます。

**注意：** さらに多くの拡張装置を追加するには **Add More Expansion Units to the HA Cluster** (ページ 26) を参照してください。

#### 5 RackStation の電源を入れます。



#### **注意：**

1. RackStation 装置が通常運転をしている時は、お使いの拡張ユニットは正しく接続されていれば 1 つずつ自動的に電源を入れます。しかし、運転中にシステムから mini-SAS ケーブルを直接取り外すと、次回拡張装置をシステムに接続した時に電源ボタンを手動で押す必要があります。
2. DSM のインストールと HA クラスターの構成を始める前に、両方の RackStation の電源を入れてください。1 台の RackStation だけ電源を入れて DSM をインストールする場合でも、インストール完了後に HA クラスターの構成を続行しますので、他の RackStation も手動で電源を入れてください。

# DSM を RackStation にインストールする

ハードウェアの設定が完了したら、Synology のブラウザ ベースのオペレーティング システム、DiskStation Manager (DSM) を RackStation にインストールします。

## Web Assistant を使って DSM をインストールする

RackStation には「**Web Assistant**」というツールが内蔵されています。これは、インターネットから最新の DSM をダウンロードし、RackStation にインストールするためのツールです。Web Assistant を使用するには、次の手順に従ってください。

1 RackStation の電源を入れます。

**注意：** 2 台の RackStation を設定して HA クラスターを構築するには、DSM のインストールを始める前に両方の RackStation の電源を入れてください。

2 RackStation と同じネットワークに繋がれたコンピュータでウェブブラウザを開きます。

3 ブラウザのアドレスバーに次のいずれかを入力してください。

a [find.synology.com](http://find.synology.com)

b [rackstation:5000](http://rackstation:5000)

4 使用する Web ブラウザで Web Assistant が起動します。これはローカルネットワーク内の RackStation を検索、検出します。RackStation の状態は**未インストール**になるはずですが。

5 どちらかの RackStation を選択し、[**セットアップ**] をクリックしてセットアップを開始した後、画面の指示に従ってください。この RackStation は、インストール後にアクティブ サーバーとして機能します。

**注意：**

1. 別のサーバーでインストールが開始されると、そのことを知らされますので画面の指示に従って設定を行ってください。

2. Web Assistant で DSM をインストールするには、RackStation をインターネットに接続する必要があります。

3. 推奨するブラウザ：Chrome、Firefox。

4. RackStation とコンピュータはどちらも同じローカル ネットワーク上になければなりません。

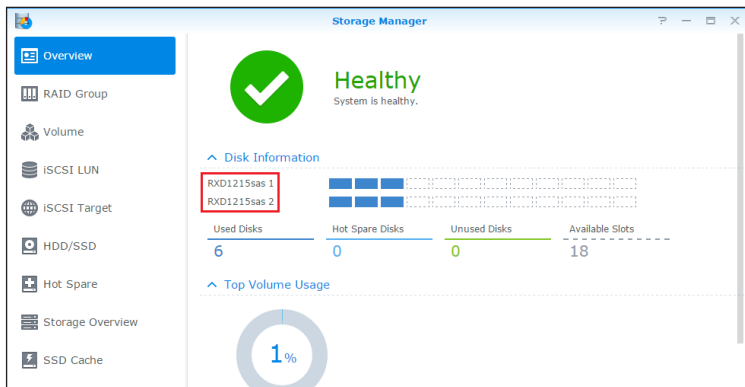
- 6 インストールが完了する前に誤ってインストールを中断してしまった場合は、再度 [find.synology.com](https://find.synology.com) にアクセスして**準備完了**と表示されている RC18015xs+ モデルを探してください。次に、パスワードを入力せずに、DSM に **admin** (デフォルトの管理アカウント名) としてログインします。

**注意：**

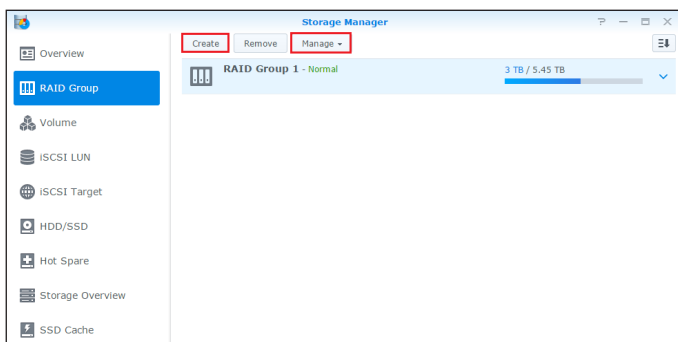
1. DSM のインストールと HA クラスタの作成手順が表示されます。
2. インストールが完了したら、**[DSM]>[コントロールパネル]>[ネットワーク]>[ネットワークインターフェイス]** を選択して、RackStation に固定 IP を設定し、スイッチオーバーまたはフェイルオーバーが正常に作動するか確認してください。
3. HA クラスタの状態を監視したり、設定を行ったりするには、**[DSM]>[High Availability Manager]** を選択します。詳細は **DSM ヘルプ** を参照してください。.

# 接続の確定とストレージスペースの管理

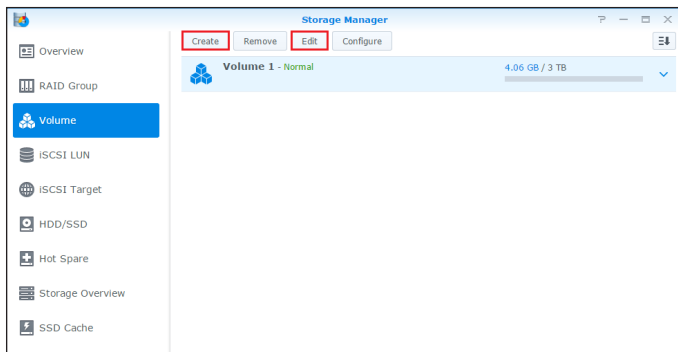
- 1 RackStation の DiskStation Manager (DSM) にログインします。
- 2 [メインメニュー]>[Storage Manager]>[概要]を選択し、拡張装置が正しく接続されたか確認してください。



- 3 左パネルで [RAID グループ] を選択し、作成または拡張するストレージスペースを管理します。
  - 新しい RAID グループを構築するには、[作成] をクリックしてウィザードに従ってください。
  - 既存の RAID グループを拡張するには、グループ リストから拡張したい RAID グループを選択し、[管理]>[ディスクを追加] をクリックします。次に、ウィザードに従って拡張を完了してください。



- 4 RAID グループの準備ができたら、左パネルで **[ボリューム]** を選択してボリュームの管理を行ってください。
- 拡張装置に新しいボリュームを増設するには、**[作成]** をクリックしてウィザードに従ってください。
  - 既存のボリュームを拡張するには、ボリューム リストから拡張したいボリュームを選択し、**[編集]** をクリックしてウィザードの指示に従ってください。



- 5 ボリューム管理の詳細は、**[DSM ヘルプ]** > **[ストレージ マネージャー]** を参照してください。

**制限：** この拡張装置を使用する前に、下記の制限についてをお読みください。

1. この拡張装置は、一度に最高 2 台までの Synology RackStation RC18015xs+ と 1 つの HA クラスタで使用することができます。
2. 両方の RackStation は 1 台の拡張装置を共有しなければなりません。1 台の RackStation が別の RackStation とは異なる拡張装置に接続されていると、作動しません。

## 詳細情報

おめでとうございます！ RackStation **RC18015xs+** と **RXD1215sas** 拡張装置で HA クラスタが構築されました。詳細については、またはオンライン リソースをご覧ください。 [www.synology.com](http://www.synology.com) にアクセスしてください。

# メンテナンスと拡張

## RC18015xs+

**注意：**電源を切り、アクティブ サーバーとして機能している RackStation を切断する前に、サービス停止時間をできる限り短縮するために DSM で手動でスイッチオーバーを行ってください。詳細は [DSM ヘルプ ] > [High Availability Manager] を参照してください。

## ネットワーク インターフェイス カードを RackStation に追加する

RackStation RC18015xs+ は PCIe x8 アドオン ネットワーク インターフェイスカードに対応しています。次の説明に従って、RackStation を起動し、ネットワーク インターフェイス カードを繋いでください。

**注意：**

1. ネットワーク インターフェイス カードを HA クラスタ（構築してある場合）のどちらかの RackStation に繋いだら、同モデルの別のネットワーク インターフェイスカードをもう片方の RackStation に繋いでください。
2. 互換性のあるネットワーク インターフェイスカード モデルに関しては、[www.synology.com](http://www.synology.com) をご覧ください。

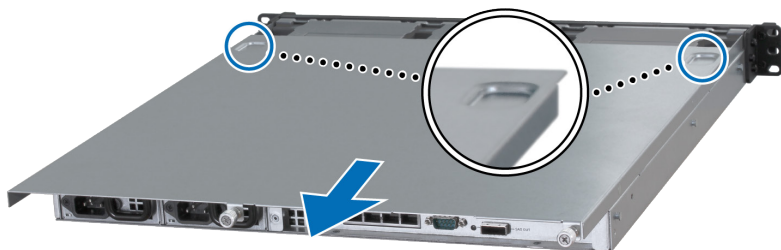
- 1 RackStation をシャットダウンします。ご使用の RackStation に接続されているケーブルをすべて外して、考えられるダメージを防いでください。

2 上カバーを外して RackStation を開きます。

- a シャーシの上カバーを固定しているモデルの背面にあるネジを弛めます。



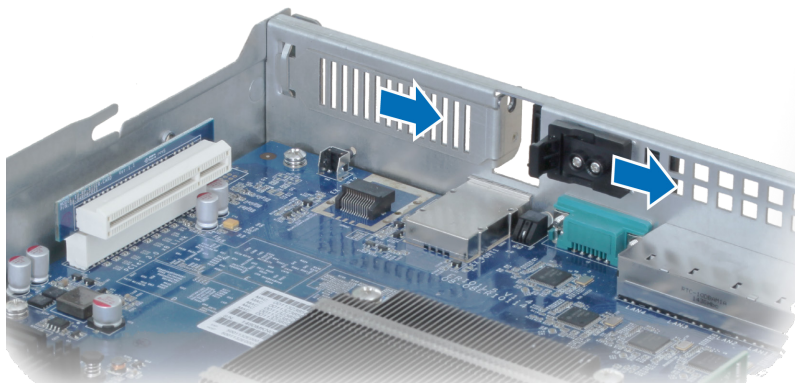
- b 溝をしっかりとつかみ、下に示す方向に引いて上カバーを外し、それを横に置きます。



**注意：** トップカバーを外すと、内部の繊細なコンポーネントが見えます。次のステップに記載されるアイテム以外には手を触れないでください。

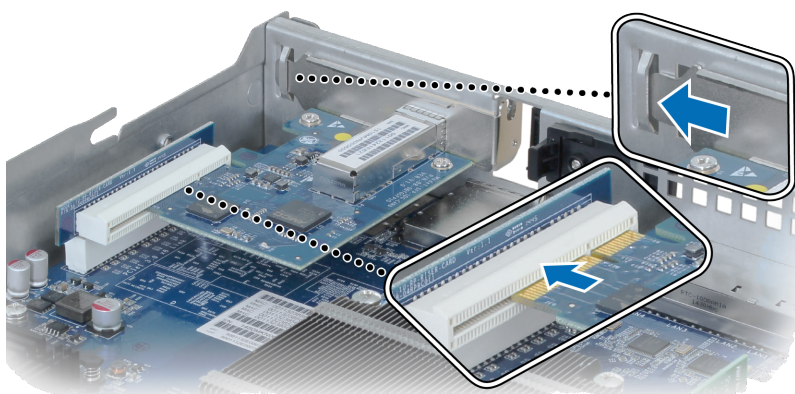
**3** ネットワークインターフェイスカードを取り付けます。

- a** 右側にあるポートアクセスブラケットのタブを選択すると、ポートアクセスカバーを取り外せます。



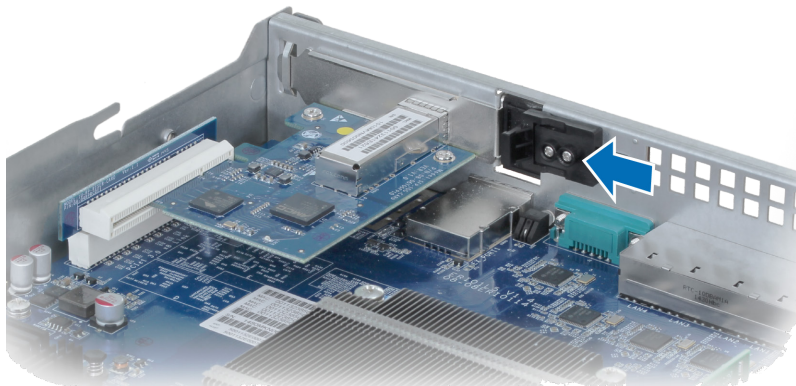
**b** カードのコネクタをスロットのブラケットに合わせます。

**c** カードをスロットに挿入します。





- d タブを再度押しすと、新しい挿入されたカードが固定されます。



**注意：**コネクタが完全に挿入されていることを確認します。これを怠ると、ネットワークインターフェイスカードが正しく機能しないことがあります。

- 4 ステップ 2 で外した上カバーを元に戻します。
- a 上カバーの端にあるドットとシャーシの端のスロットを合わせて、上カバーを押して戻します。



- b ステップ 2-a で弛めたネジを締めます。

## RAM モジュールを RackStation に追加する

別売りの Synology RAM モジュールは、RackStation のメモリを拡張するための設計されたものです。下記の手順に従って、RackStation に RAM モジュールをインストールしたり、確認または削除したりしてください。

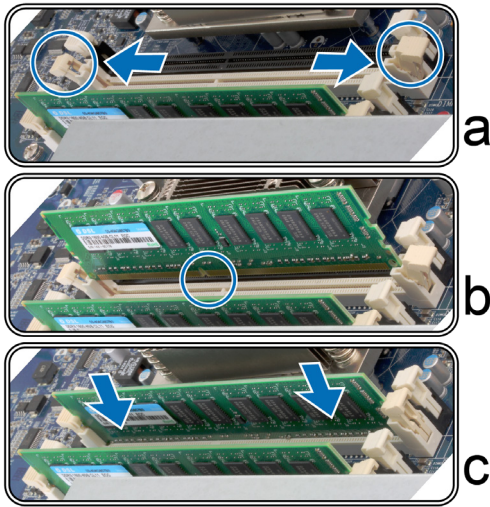
RAM モジュールをインストールするには：

**注意：**RAM モジュールを HA クラスタ（構築してある場合）のどちらかの RackStation に繋いだら、同モデルの別の RAM モジュールをもう片方の RackStation に繋いでください。

- 1 RackStation をシャットダウンします。ご使用の RackStation に接続されている

ケーブルをすべて外して、考えられるダメージを防いでください。

- 2 Attach a Network Interface Card to the RackStation のステップ 2 に従って、RackStation を開きます。
- 3 新しいメモリモジュールをスロットに挿入する：



- a スロットに保持されているクリップを押します。
- b モジュールの金色の端にあるノッチを、メモリスロットのノッチに合わせます。
- c メモリモジュールをしっかりと、均等な圧力で押します。モジュールが正しく挿入されていると、維持クリップが正しい位置に固定されます。

**注意：**メモリモジュールは両端を持ち、金色のコネクタに触れないでください。

- 4 Attach a Network Interface Card to the RackStation のステップ 4 に従って、トップカバーを元に戻します。

RackStation に新しいメモリの量を認識させるには：

- 1 **admin** または **administrators** グループに属しているユーザーとして DSM にログインします。
- 2 [コントロールパネル]>[情報センター]で[合計物理メモリ容量]を確認します。

RackStation がメモリを認識しない、または起動しない場合は、メモリが正しく装着されていることを確認してください。

RAM モジュールを取り外すには：

**注意：**RAM モジュールを HA クラスタ（構築してある場合）のどちらかの RackStation から外したら、対応する RAM モジュールをもう片方の RackStation から外してください。

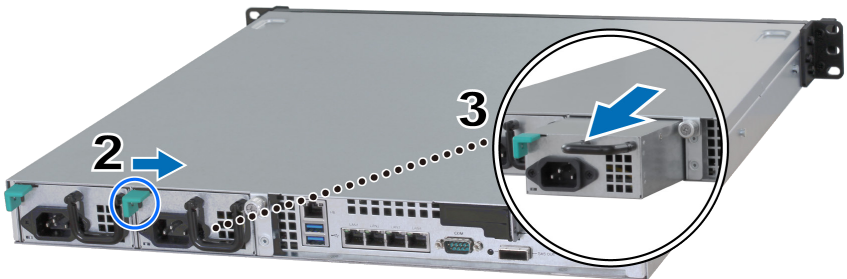
- 1 「RAM モジュールをインストールするには」セクションのステップ 1 と 2 に従って RackStation をシャットダウンし、ケーブルを外して上カバーを外します。
- 2 クリップを外側に押すと、クリップが保管されているメモリとの接続を切断します。すると、モジュールをスロットから外すことができます。
- 3 「RAM モジュールを装着する」のステップ 4 のセクションに従って、上カバーを元に戻してください。

## 故障した PSU を交換する

電源 (PSU) が故障したときには、次の説明に従って PSU を交換してください。

- 1 PSU から電源コードを外して交換します。

**注意：**警告音停止ボタンを押すと、警告音を止めることができます。

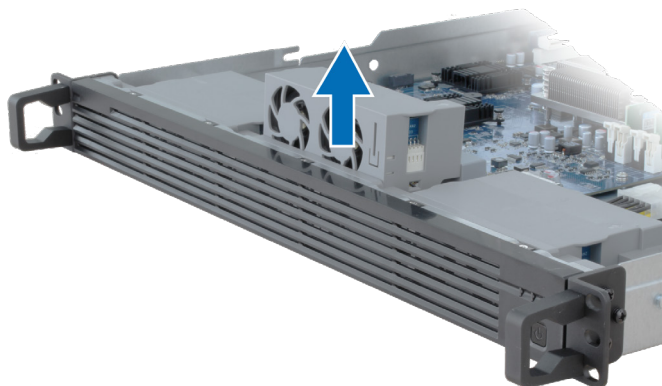


- 2 バックパネルにある PSU のレバーを矢印の方向に押します。
- 3 RackStation から PSU を取り出します。
- 4 新しい PSU を準備して、カチッという音がするまでスロットに押し込みます。

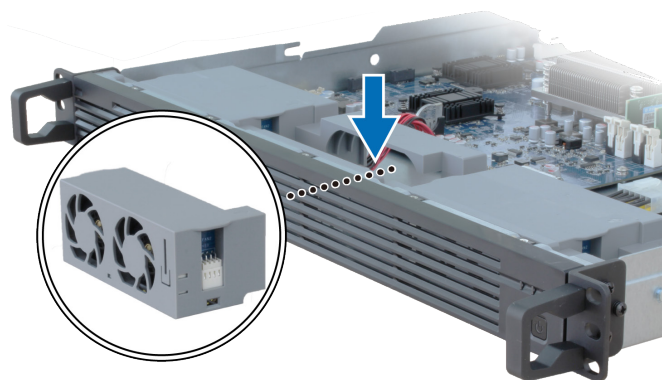
## 故障したファンモジュールを交換する

ファンモジュールが故障した場合は、次の説明に従って RackStation を開き、故障したファンモジュールを交換してください。

- 1 RackStation をシャットダウンします。ご使用の RackStation に接続されているケーブルをすべて外して、考えられるダメージを 방지してください。
- 2 Attach a Network Interface Card to the RackStation のステップ 2 に従って、RackStation を開きます。
- 3 故障したファンモジュールを RackStation から取り出して交換します。



- 4 新しいファンモジュールの準備をして、下図を参考に空いているスロットに挿入してください。



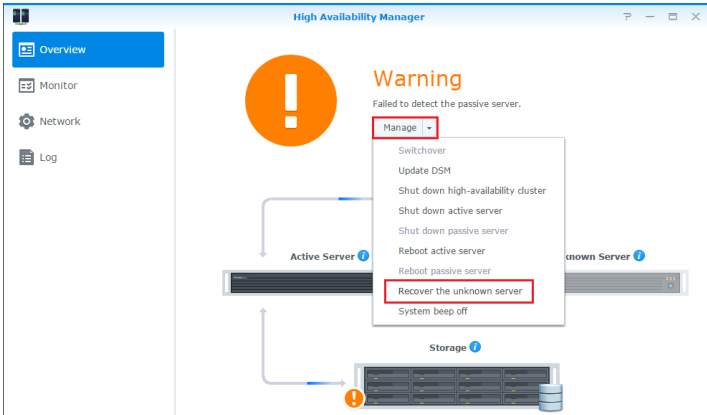
- 5 Attach a Network Interface Card to the RackStation のステップ 4 に従って、トップカバーを元に戻します。

# 故障した RackStation の交換

RackStation が故障したら、次の説明に従って故障下 RackStation を交換してください。

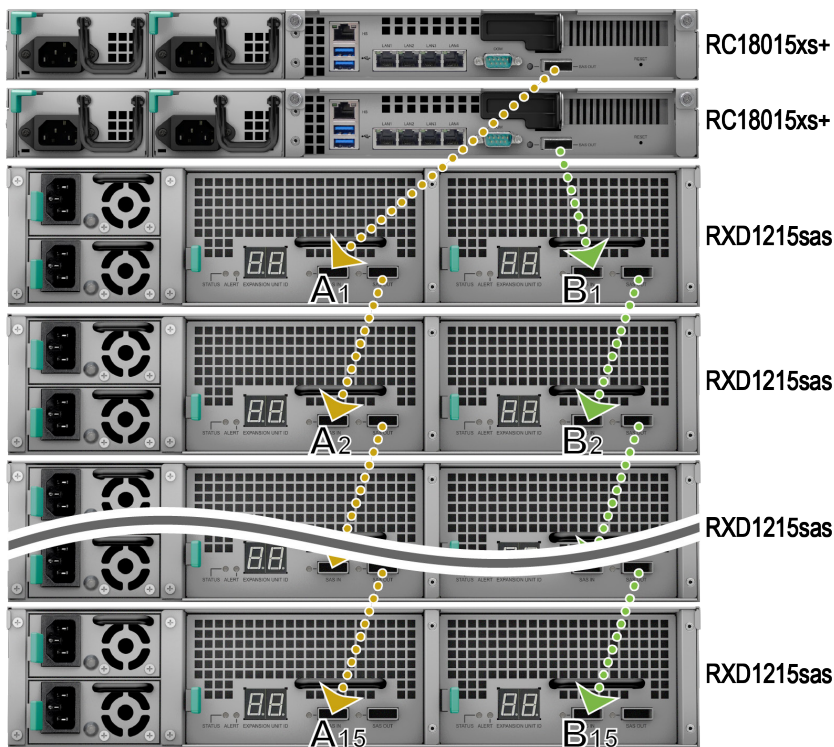
**注意**：故障した RackStation がアクティブ サーバーとして機能しており、サービスがもう片方の RackStation に切替わっていない場合は、[DSM] > [High Availability Manager] を選択してスイッチオーバーを行ってください。

- 1 故障した RackStation の電源が切っているか確認してください。故障した RackStation からすべてのケーブルを外します。外した RackStation を横に置きます。
- 2 新しい RackStation の準備をして、**第 2 章：Connect with Synology RC18015xs+** ( ページ 12) の手順にしたがって、新しい RackStation を別の RackStation と拡張装置に繋いでください。
- 3 新しく接続した RackStation の電源を入れます。
- 4 [DSM] > [High Availability Manager] を選択します。[概要] タブでは、新しく接続した RackStation は**不明なサーバー**として表示されます。
- 5 [管理] > [不明なサーバーを復旧] を選択すると、新しい RackStation がリブートして HA クラスターに接続し、受動サーバーとして機能します。



## HA クラスタにさらに多くの拡張装置を追加

RackStation RC18015xs+ に HA が構築されている場合、最大 15 台の RXD1215sas 拡張装置に対応できます。次の指示に従って、追加の拡張装置を HA クラスタに追加してください。



- 1 mini-SAS ケーブルを拡張装置 (例: モジュール A1) の **SAS モジュール A** の SAS-OUT ポートに繋ぎ、もう片端を拡張装置 (例: モジュール A2) の **SAS モジュール A** の SAS-IN ポートに繋いでください。
- 2 mini-SAS ケーブルを拡張装置 (例: モジュール B1) の **SAS モジュール B** の SAS-OUT ポートに繋ぎ、もう片端を拡張装置 (例: モジュール B2) の **SAS モジュール B** の SAS-IN ポートに繋いでください。
- 3 ステップ 1 とステップ 2 を繰り返して、別の拡張装置を HA クラスタに追加します。



**注意：**

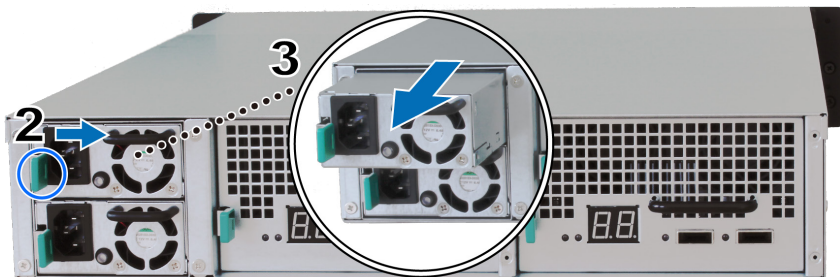
1. 拡張ユニットは、各 RackStation のそれぞれの側面のモジュールに直列に繋いでください。
2. 両方の RackStation は同じ順番で拡張装置に接続する必要があります。例えば、上のサンプル図のように RackStation を A1、A2、A3 ... の順番で拡張装置に繋いだ場合は、別の RackStation も B1、B2、B3 ... のように同じ順番で拡張装置に繋ぐ必要があります。

## 故障した PSU を交換する

電源装置 (PSU) またはそのファンが故障したときには、次の説明に従って故障した PSU を交換してください。

- 1 PSU から電源コードを外して交換します。

**注意：**警告音停止ボタンを押すと、警告音を止めることができます。



- 2 バックパネルにある PSU のレバーを矢印の方向に押します。
- 3 拡張装置から PSU を取り出します。
- 4 新しい PSU を準備して、カチッという音がするまでスロットに押し込みます。

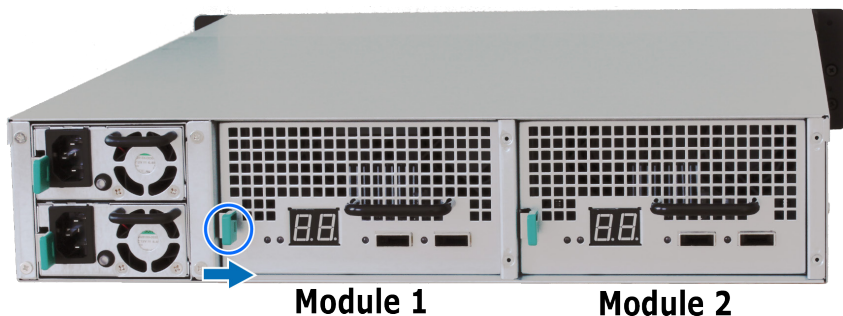
## 故障した SAS モジュール / ファンを交換する

SAS モジュールまたはそのファンが故障した場合は、次の図を参考に拡張装置 SAS モジュールを取り出して、モジュールまたは故障したファンを交換してください。

1 故障したファンがある SAS モジュールから mini-SAS を外します。

**注意：**SAS モジュールがアクティブ サーバーとして機能している RackStation に直列に繋がれている場合は、SAS モジュールから SAS ケーブルを外す前に DSM でスイッチオーバーを手動で行ってください。詳細は [DSM ヘルプ] > [High Availability Manager] を参照してください。

2 バックパネルにある SAS モジュールのレバーを矢印の方向に押します。SAS モジュールには以下に示すように番号が付けられています。



3 拡張装置から SAS モジュールを取り出します。





### 故障した SAS モジュールを交換するには：

新しい SAS モジュールを準備して、カチッという音がするまでスロットに押し込みます。

### SAS モジュールの故障したファンを交換するには：

1 故障したファンを SAS モジュールから取り出して交換します。下図に示すように、ファンには番号が付いています。



- 2 新しいファンの準備をして、図に示すように矢印をバックパネルの目印に合わせて、空いているスロットに挿入します。



- 3 SAS モジュールをカチッという音が鳴るまでスロットに押し込みます。

# 仕様

# A

アイテム	RC18015xs+
内部ドライブ	使用できません
最大生容量	1440TB (180 x 8TB HDD) RXD1215sas (拡張装置) x 15
外部ポート	<ul style="list-style-type: none"><li>• USB 3.0 x 2</li><li>• SAS-OUT x 1</li></ul>
LAN ポート	Gigabit x 5 (Heartbeat 接続用の 1 台を含む)
PCIe スロット	PCIe x8 アドオン ネットワーク インターフェイスカード x 1 (別売り)
サイズ (H x W x D) (mm)	44 x 430 x 480
重量 (Kg)	7.3
システムファン	デュアルファン (40 x 40 x 28mm) モジュール x 3
対応クライアント	<ul style="list-style-type: none"><li>• Windows XP 以降</li><li>• Mac OS X 10.5 以降</li><li>• Ubuntu 9.04 以降</li></ul>
ファイルシステム	<ul style="list-style-type: none"><li>• 内蔵ディスク : Btrfs、ext4</li><li>• 外付ディスク : Btrfs、ext4、ext3、FAT、NTFS、HFS+</li></ul>
対応 RAID タイプ	<ul style="list-style-type: none"><li>• Basic • JBOD • RAID 0 • RAID 1</li><li>• RAID 5 • RAID 6 • RAID 10</li></ul>
認定機関の認可	<ul style="list-style-type: none"><li>• FCC Class A • CE Class A • BSMI Class A</li></ul>
電源をオン / オフに予約する	あり
Wake on LAN	あり
ローカライゼーション言語	<ul style="list-style-type: none"><li>• English • Deutsch • Français • Italiano • Español • Dansk • Norsk • Svensk</li><li>• Nederlands • Русский • Polski • Magyar • Português do Brasil • Português Europeu</li><li>• Türkçe • Český • 日本語 • 한국어 • 繁體中文 • 简体中文</li></ul>
環境条件	<ul style="list-style-type: none"><li>• 回線電圧 : 100V ~ 240V AC</li><li>• 実行頻度 : 50/60Hz</li><li>• 動作温度 : 40 ~ 95°F (5 ~ 35°C)</li><li>• 保管温度 : -5 ~ 140°F (-20 ~ 60°C)</li><li>• 相対湿度 : 5% から 95% RH</li></ul>

**注意 :** モデルの仕様は予告なしに変更されることがあります。最新情報については [www.synology.com](http://www.synology.com) を参照してください。

アイテム	RXD1215sas
内部ドライブ	3.5" または 2.5" SAS x 12
外部ポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SAS-IN x 2</li> <li>• SAS-OUT x 2</li> </ul>
最大内部生容量	96TB (12 x 8TB HDD)
ホットスワップ対応ドライブ	あり
サイズ (H x W x D) (mm)	88 x 430 x 692
重量 (Kg)	18
システムファン	4 x (60 x 60 x 51mm)
電源ファン	2 x (38 x 38 x 28mm)
電源復旧	RackStation との同期
認定機関の認可	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FCC Class A</li> <li>• CE Class A</li> <li>• BSMI Class A</li> </ul>
環境条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 回線電圧：100V ~ 240V AC</li> <li>• 実行頻度：50/60Hz</li> <li>• 動作温度：40 ~ 95°F (5 ~ 35°C)</li> <li>• 保管温度：-5 ~ 140°F (-20 ~ 60°C)</li> <li>• 相対湿度：5% から 95% RH</li> </ul>

**注意：**モデルの仕様は予告なしに変更されることがあります。最新情報については [www.synology.com](http://www.synology.com) を参照してください。

## LED インジケータ表

RC18015xs+

LED インジケータ	色	状態	説明
STATUS	緑	静的	ボリューム正常
	オレンジ	点滅	ボリュームの劣化 / 障害
			ボリューム未完成
			DSM 未インストール
ALERT	オレンジ	点滅	ファンの故障 / 高温
	オフ		システム正常
HA	緑	静的	アクティブサーバーとして作動
	オレンジ	静的	<b>[DSM ヘルプ] &gt; [High Availability Manager] &gt; [概要]</b> を選択し、 <b>[警告メッセージ]</b> セクションをご覧ください。
	オフ		受動サーバーとして待機
電源	青	静的	電源オン
		点滅	ブートアップ中 / シャットダウン中
	オフ		電源オフ
PSU インジケータ	緑	静的	電源装置準備完了
	オフ		電源装置なし
LAN (端末の左側)	緑	静的	ネットワークに接続済み
		点滅	ネットワーク接続中
	オフ		ネットワークなし
LAN (端末の右側)	緑	静的	ギガビット接続
	オレンジ	静的	100 Mbps 接続
	オフ		10 Mbps 接続 / ネットワークなし

**注意：**この表は、DSM 6.2.3以前で動作しているSynology NAS用です。DSM 6.2.4以降に対しては、[この記事](#)で最新情報をご覧ください。

LED インジケータ	色	状態	説明
ドライブステータスインジケータ (トレイ上)	緑	静的	ディスク使用可能 (アイドル状態)
		点滅	ドライブにアクセス中
	赤	静的	ドライブエラー
	オフ		内部ドライブなし
電源	青	静的	電源オン
	オフ		電源オフ
フロント ALERT	オレンジ	点滅	ファンの故障
	オフ		システム正常
リア ALERT	オレンジ	静的	電源オフ
		点滅	ファンの故障
	オフ		システム正常
リア STATUS	緑	点滅	電源オン
	オフ		電源オフ
PSU インジケータ	緑	静的	電源装置正常
	オフ		電源装置オフ

**注意：**モデルの仕様は予告なしに変更されることがあります。最新情報については[www.synology.com](http://www.synology.com)を参照してください。

## SYNOLOGY, INC.

### エンドユーザー用の使用許諾契約

必ずお読みください：このエンドユーザー用の使用許諾契約書（以下「EULA」）は、あなたが購入された SYNOLOGY 製品（以下「製品」）にインストールされていた SYNOLOGY ソフトウェア、合法的に [WWW.SYNOLOGY.COM](http://WWW.SYNOLOGY.COM) からダウンロードしたソフトウェア、または SYNOLOGY が提供するその他の方法で入手した SYNOLOGY ソフトウェア（以下「ソフトウェア」）について、あなた（1人の個人または1つの団体のいずれか）と SYNOLOGY, INC.（以下「SYNOLOGY」）の間で交わされる法的な契約書です。

あなたは、製品に含まれているソフトウェアを使用する、ソフトウェアを製品にインストールする、デバイスを製品に接続すると、本 EULA の条件に同意したものとみなされます。本 EULA の条件に同意いただけない場合は、ソフトウェアが含まれる製品を使用したり、[WWW.SYNOLOGY.COM](http://WWW.SYNOLOGY.COM) からソフトウェアをダウンロードしたり、その他 SYNOLOGY が提供する方法でソフトウェアを入手したりしないでください。その場合は、製品を購入した販売店に製品を返却し、販売店の返却条件に従って返金を求めてください。

**第1条・条件付きソフトウェアライセンス。** 本 EULA の利用規約に従い、Synology はユーザーに製品の許可された使用についてのみ、製品または製品に接続されたデバイスに読み込まれたソフトウェア1部をインストール、実行、使用するための限定付き、非独占的、譲渡できない個人用ライセンスを許可します。

**第2条・文書。** ソフトウェアに付属のいかなる文書も適度な枚数の複製を作成し使用することができます。その複製は、社内使用に限り、第三機関に対して再発行または再配布（ハードコピーまたは電子コピーのいずれの形式においても）してはけません。

**第3条・バックアップ。** ユーザーは、バックアップおよび保管目的において適切な枚数のソフトウェアの複製を作成することができます。

**第4条・更新。** 元のソフトウェアを更新または補足するために、Synology のウェブサイト [www.synology.com](http://www.synology.com)（以下「ウェブサイト」）、または Synology が示すその他の方法で提供されたソフトウェアは、かかる更新や補足に別途ライセンス要項が付帯されている場合を除き、すべてこの EULA に準拠します。

**第5条・ライセンス制限。** 第1条、2条、3条で制定されるライセンスは、ユーザーが注文および購入した製品の定める範囲で適用され、そのソフトウェアに対するユーザーのすべての権利を提示します。Synology は、本書において明確にユーザーに与えられていないすべての権限を保有します。前述の規定にもかかわらず、第三者に対して次のような行為をすることは禁止されています。(a) 製品に関する目的以外で本ソフトウェアを使用すること、(b) 本ソフトウェアの使用許可、配布、リース、レンタル、転写、譲渡、またはソフトウェアをその他の方法で提供すること、(c) 本ソフトウェアのリバースエンジニア、逆コンパイル、逆アセンブル、または本ソフトウェアのソースコードまたは機密情報を得るための試みを行うこと、ただし、この制限に関わらず準拠法によりそのような行動が明確に許可されている場合は除く、(d) ソフトウェアの派生物を採用、修正、改造、翻訳、または作成すること、(e) ソフトウェアまたは製品の著作権表示またはその他の所有権表示を取り除く、修正する、隠すこと、(f) 製品またはソフトウェアのコンポーネント、特徴、機能へのアクセスを Synology が管理するために採用するあらゆる方法を回避、または回避しようとする。第5条で規定した制限については、Synology NAS サーバーがホストするサービスをあなたが第三者に対して商用を目的として提供することを禁止するものではありません。

**第6条・オープンソース。** 本ソフトウェアには、GNU General Public License（「GPL Components」）（<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html> 参照）の下で Synology にライセンス許可が与えられているコンポーネントが含まれる場合があります。GPL の条件は、本書の内容が GPL コンポーネントの使用に関して GPL の要件と衝突する場合に GPL コンポーネントに対してのみ適用され、そのような場合、ユーザーは該当コンポーネントの使用について GPL に準拠することに同意するものとします。

**第7条・監査。** Synology は、本書の利用規約に関するユーザーのコンプライアンスを監査する権利を有します。ユーザーは、Synology に施設、設備、帳簿と記録、文書へのアクセスを許可し、Synology または Synology が認めた代理人の監査を促進させるために適切な協力を行うことに同意するものとします。

**第8条・所有権。** 本ソフトウェアは、Synology およびライセンス契約者の価値のある資産であり、著作権法およびその他の知的財産法および条約で保護されています。Synology またはそのライセンサーは、ソフトウェアに対するすべての権利、権限、利権を有しています。これには著作権やその他の知的所有権を含みますがこれだけに限りません。

**第9条・制限付き保証。** Synology は、ウェブサイトで規定されている場合を除き、お住まい地域の法律が認める期間、Synology が公表するソフトウェア仕様を實質満たしていることについて制限的に保証します。Synology は、商取引上の合理的な方法で、Synology 独自の決断により、ソフトウェアの不具合を修正する、または前述の保証に準拠しないソフトウェアを交換する、のいずれかを行います。ただし、この場合、保証期間内にユーザーが Synology に対して不具合を書面にて通知する必要があるとします。前述の保証は、以下を起因とする不具合には適用されません。(w) 本書に従って使用、複製、配布、公開しない場合、(x) Synology 以外の者によるソフトウェアのカスタマイズ、修正、その他の改造が行われた場合、(y) Synology 以外の者により提供された製品、サービス、またはその他の事柄とソフトウェアを併用した場合、または (z) 本書の規定に従わない場合。

**第10条・サポート。** 第9項で示した期間中は、Synology は、ユーザーにサポートサービスを提供します。期間後のソフトウェアに対するサービスは、書面による要望がある場合において Synology により提供される場合があります。

**第11条・免責事項。** 上記に明記されている場合を除き、ソフトウェアはエラーも含め、「現状のまま」提供されます。SYNOLOGY およびそのサプライヤーは、ソフトウェアに関して商用性、特定目的への適合性、ソフトウェアの使用以外に、明示された、示唆された、法的、法律により発生したすべての保証に対して免責される権利を持つものとし、また、上述の条件に限らず、SYNOLOGY はソフトウェアにバグ、エラー、ウイルス、その他の結果が含まれていないことを保証しません。

**第12条・特定損害の放棄。** いかなる場合も SYNOLOGY およびそのライセンサーは、ソフトウェアの使用または使用しないこと、または本書に規定される、または本書に関連して発生する偶発的、間接的、特別、懲罰的、結果的、または同等の損害（データ、情報、収益、利益またはビジネスの喪失を含みそれに限定されない）を補うための費用について、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、SYNOLOGY がその損害の可能性について知らされている場合においても一切の責任を負いません。

**第13条・責任の制限。** 本ソフトウェアの使用、または使用できないことから生じる、または関連する、または本書または本ソフトウェアに記載される、または関連する SYNOLOGY およびそのサプライヤーの責任は、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、負う損害の額面に限らず、製品の購買に実際に費やした額面に限定します。前述の保証の放棄、特定損害の放棄、および責任の制限は、準拠法の許す範囲で最大限に適用されます。州および/または管轄の法律によっては、暗示保証の除外または特定損害の除外または制限を許可していない場合があります。本書に適用されるそれらの法律の許す範囲で、上述の除外および制限がユーザーに適用されない場合があります。

**第14条・輸出規制。** 本ソフトウェアは、米国の輸出規制の対象です。ユーザーは、米国輸出管理規則を含みこれに限定されない、本ソフトウェアに適用されるすべての準拠法および規定を準拠することに同意したと見なされます。

**第15条・契約の終了。** その他の権利を侵害することなく、ユーザーが本書の利用規約に従わない場合は、Synology が本書の契約を終了する場合があります。その場合、ユーザーは本ソフトウェアの使用を止め、本ソフトウェアのすべてのコピーおよびそのすべてのコンポーネントを破棄する必要があります。

**第16条・譲渡。** 製品にアプラインストールされていた場合を除き、第三者にあなたの権利を譲渡したり、割り当てたりすることはこの EULA において禁止されています。前述の制約に違反するそのような移譲または譲渡は、無効です。

**第17条・準拠法。** 現地の法律で明示的に禁止されていない限り、この EULA（エンドユーザ使用許諾契約）は、接触法の原則に反するかどうかに関係なく、Synology Inc. が法人化された国の国内法により支配され、それに従い解釈されるものとします。

**第18条・紛争の解決。** 本 EULA から生じる、あるいは本 EULA に関連するすべての紛争、論争、あるいは請求は、Synology Inc. が法人化された国の仲裁法および関連する施行規則の手続きに従って、3 人の中立な仲裁者により実施される仲裁により、独占的に、最終的に解決されるものとします。このような場合における仲裁は、専らあなたと Synology との間の紛争のみに限定されます。この仲裁、またはその一部は、その他いずれかの仲裁に統合されることはなく、集団または集団訴訟ベースでは実施されません。仲裁は台北で実施されるものとし、仲裁手続は英語で実施されるか、あるいは双方の当事者が合意する場合には、北京語で実施されるものとします。仲裁裁定者は最終的で、当事者を拘束するものであり、司法管轄権を持つ裁判所において強制力を持ちます。この条項がない場合、あなたは裁判所を通じて紛争の訴訟を起こす権利を有しており、これには、集団または集団代表ベースでの請求を要求する訴訟の権利が含まれていることをあなたは理解していますが、



あなたは明示的および意図的にこれらの権利を放棄し、この第 18 条に従って、拘束力のある仲裁を通じて紛争を解決することに同意したことになります。本条のいかなる部分も、Synology が差し止めによる救済またはその他の権利および Synology の知的財産権に関連する本書の条項への不履行またはその脅威に対する法律または衡平法における救済手段の要求を禁止または制限しないこととします。

**第 19 条・弁護士費用。** 本 EULA におけるいかなる仲裁、調停、その他の法的行為、または権限または救済手段を行使する際、勝訴した当事者は、他の救済措置に加えて、その費用および適切な弁護士料金を回収する権利があります。

**第 20 条・契約の分離。** 本書に、管轄裁判所で無効、不法、または法的強制力がないと判断された条項がある場合においても、本書の残りの部分は有効に存続します。

**第 21 条・完全合意。** 本書は、本ソフトウェアおよび本書の対象物について Synology とユーザー間の完全合意を制定し、書面または口頭に関わらず、すべての事前および同時期の了解事項および合意に優先します。本書の条項に対する訂正、修正、または権利放棄は、実施する当事者が署名する法的文書で制定されていない限り、拘力がありません。

この EULA のオリジナルは英語版であり、これはその日本語版です。英語版と翻訳語版の間に相違がある場合は、英語版が優先となります。

## SYNOLOGY, INC. 制限付き製品保証

本制限付き保証（「保証」）は、SYNOLOGY, INC. および SYNOLOGY AMERICA CORP を含むその関連会社（総称して「SYNOLOGY」という）の製品（以降に記載）に適用します。ユーザーは、製品パッケージを開封および／または製品を使用することにより本保証の条件を承諾し、同意したと見なされます。本保証の条件に同意しない場合は、製品を使用しないでください。その場合は、製品を購入した販売店に製品を返却し、販売店の返却条件に従って返金を求めてください。

### 第1条 - 製品

(a) 「製品」とは、新品製品及びリファビッシュ製品を指します。(b) 「新製品」には次のものが含まれます。(1) 「カテゴリ I 製品」とは、Synology 製品モデル RS810+、RS810RP+、RX410、全 FS シリーズモデル、13 シリーズ以降の XS+/XS が末尾についた全 DS/RS NAS モデル（RS3413xs+ を除く）、または 13 シリーズ以降の 12 ドライブベイ搭載の全 DX/RX/RXD 拡張ユニット、10GbE NIC、ECC DDR4 および ECC DDR3 メモリモジュールを意味します。(2) 「カテゴリ II Product」とは、Synology 製品モデル RS3413xs+、RS3412xs、RS3412RPxs、RS3411xs、RS3411RPxs、RS2211+、RS2211RP+、RS411、RS409RP+、RS409+、RS409、RS408-RP、RS408、RS407、DS3612xs、DS3611xs、DS2411+、DS1511+、DS1010+、DS509+、DS508、EDS14、RX1211、RX1211RP、RX4、DX1211、DX510、DX5、NVR1218、NVR216、VS960HD、VS360HD、VS240HD、M2D17、およびその他カテゴリ I に属さない非 ECC メモリモジュールを意味します。(3) 「カテゴリ III 製品」とは、次の条件に当てはまる Synology 製品モデルを指します。12 シリーズ以降 5 ベイ以上のモデルで尚且つ XS+/XS が末尾につかない全ての DS NAS モデル・12 シリーズ以降の XS+/XS が末尾につかない全ての RS NAS モデル・12 シリーズ以降の 4 つ又は 5 つドライブベイを持つすべての DX/RX 拡張ユニットを指します。(4) 「カテゴリ IV 製品」とは、2008 年 3 月 1 日以降にお客様がお買い上げになったその他全ての Synology 製品モデルを指します。(5) 「カテゴリ V 製品」とは、2008 年 2 月 29 日以前にお客様がお買い上げになったその他すべての Synology 製品モデルを指します。(c) 「リファビッシュ製品」とは、Synology によってリファビッシュされ、オンラインショップで直接販売したすべての Synology 製品を指します。これには認定された Synology ディストリビュータやリセラーによって販売された製品は含まれません。(d) 「お客様」とは、Synology 又は Synology の正規ディストリビュータ又は販売店から製品を購入した、最初の個人または組織を指します。「オンラインショップ」とは、Synology または Synology の子会社が運営するオンラインショップを意味します。「ソフトウェア」とは、Synology が所持し提供しており、お客様が購入した製品に付属している・お客様がウェブサイトからダウンロードした・Synology の製品にプリインストールされている Synology の保有するソフトウェアで、ファームウェア・関連する媒体・画像・アニメーション・動画・オーディオ・テキスト・ソフトウェアまたは製品に組み込まれるアプレット・および該当ソフトウェアのアップデートまたはアップグレードが含まれます。

### 第2条 - 保証期間

(a) 「保証期間」とは、お客さまが製品を購入した日から始まり、(1) カテゴリ I 製品は 5 年間、(2) カテゴリ II 及びカテゴリ III 製品は 3 年間、(3) カテゴリ IV 製品は 2 年間、(4) カテゴリ V 製品は 1 年間とする。(5) 「現状のまま」で販売された製品・またはオンラインショップで「保証なし」の状態の販売された製品を除き、リファビッシュ品は 90 日間とします。(b) 「延長保証保証期間」とは、EW201（オプションサービス）を第1条(b)に該当し尚且つ延長保証該当製品向けにお買い求めになられたお客様に適用されます。保証期間については第2条(a)に記載されている保証期間に加え、EW201（オプションサービス）を適用し製品と登録すると 2 年間追加されます。

### 第3条 - 制限付き保証と救済手段

**3.1 制限付き保証。** 第3.6条に従って、Synology は、保障期間中、各製品について (a) 製造上の材料不良がないこと、(b) 正常な使用において Synology の公開仕様に従って正しく機能することをカスタマに保証します。Synology は、製品付属のエンドユーザー用の使用許諾契約書（存在する場合）の条項に従ってソフトウェアを保証します。Synology は、「現状のまま」販売されるモデルチェンジされた製品、またはオンラインショップから「保証なし」で購入された製品については、保証を行いません。

**3.2 唯一の法的救済手段。** カスタマが以下に説明する方法で適切な保証期間内に第3.1条で制定する保証の不具合を通知した場合、Synology が該当する不具合を検証した後、Synology が独自の判断で以下を行います。第3.3条に従って製品の完全な返却が行われた後に、(a) 商業的に適切な方法で製品を修理する、または、(b) 不具合のない製品または部品と交換します。前述は、第3.1条の保証不履行または製品に対するその他の不具合または欠陥に対する Synology の完全な責任であり、カスタマの唯一かつ非排他的な救済手段です。カスタマは、製品の不具合に対する Synology の診断と検証を適切に支援しなければなりません。第3.1条に制定する保証に以

下は含まれません。(1) ソフトウェアに関係する保証、(2) カスタマの現場における製品の物理的な設置と取り外し、(3) カスタマの現場への訪問、(4) Synology および契約サービスプロバイダの通常営業時間（週末およびサービスプロバイダの休日を除く）以外に不具合部品の修理または交換に必要な労働時間、(5) 第三機関の設備またはソフトウェアで行う作業、(6) カスタマまたは第三機関が設置したハードディスクの保証、(7) ハードディスクの互換性保証。

**3.3 返却。** 第 3.2 条に従ってカスタマが返却する製品は、返却前に Synology から商品返却確認番号（「RMA」）を取得し、Synology の現行の RMA 手順に従って返却しなければなりません。カスタマは、Synology 正規代理店または販売店に連絡して RMA の取得を依頼し、依頼時に購入の証明および製品のシリアル番号を提示する必要があります。保証請求の場合、本保証の対象とするため、カスタマは、第 3.3 条に従って製品を完全な状態で Synology に返却する必要があります。RMA 番号を取得せずに返却された製品、または分解された製品（Synology の指示による場合は例外）は、受け取りを拒否され、カスタマの費用でカスタマに返送されます。RMA 番号を取得した製品は、必ず Synology から納品された状態に可能な限り近い状態で、Synology の指定する住所に、製品を十分保護できるように梱包し、箱の外側の見える場所に RMA 番号を明記して、運賃前払いで返却してください。返却する品物が Synology に適切に配達されるまで、品物に対する保険および損失はカスタマの責任です。RMA 番号を取得した製品は、その RMA 番号を発行してから 15 日以内に必ず返送してください。

**3.4 Synology による交換。** 第 3.1 条に従って本保証で Synology が製品交換を選んだ場合は、Synology は、第 3.3 条に従って返品された不具合製品を受領後、その製品の保証に適合するか確認した上、自社負担で Synology の選択した配送方法により交換製品を発送します。一部の国においては、Synology は独自の判断により、特定製品に Synology 交換サービスを適用する場合があります。お客様が返却した不具合製品を受領した後で、Synology は交換製品を出荷します（「Synology 交換サービス」）。

**3.5 サポート。** 保証期間中 Synology は、お客様にサポートサービスを提供します。保証期間後の製品に対するサービスは、書面による要望がある場合において Synology により提供される場合があります。

**3.6 例外。** 前述の保証および保証義務は、(a) 製品仕様に指定または説明されていない方法によりインストールまたは使用された製品、(b) Synology またはその代理店または任命者以外により修理、修正、改正が行われた製品、(c) 何らかの方法で誤用、悪用、損傷した製品、(d) 製品が意図するデザインのハードウェアまたはソフトウェア以外で Synology が提供していない品物を使用した製品、(e) その他の方法で製品の仕様に準拠していない製品、および Synology の管理下でない原因に起因する不具合には適用されません。また、前述の保証は、(1) Synology が許可した場合以外にカスタマが製品を分解した場合、(2) Synology がカスタマに対して提供する修正、改正、強化、改善、その他の更新をカスタマが実施しない場合、(3) カスタマが第三者が提供する修正、改正、強化、改善、またはその他の更新を実施、インストールまたは使用した場合には無効になります。第 3 条に制定する保証は、お客様が第三者に販売または譲渡すると終了します。

**3.7 免責事項。** 本書に制定する SYNOLOGY の保証、義務、責任、およびカスタマの救済手段は、非排他的かつ代用であり、明示または暗示に関わらず、法律またはその他の原因により生じる、以下を含みそれに限定されない本保証の下で提供される製品、ソフトウェア付属の文書、およびその他の品物またはサービスに関連して SYNOLOGY のその他のすべての保証、義務、責任およびカスタマの SYNOLOGY に対するその他の権利、主張、救済手段を放棄、譲渡、拒否します。(A) 市販性または特定目的または使用との適合性に対する暗示保証、(B) 履行の過程、取引の過程、または商慣習により生じる暗示保証、(C) 侵害または不正利用に対する請求、または (D) 不正行為（過失、厳格責任、製品責任またはその他の理論に基づくかどうかに関わらず）に対する請求。SYNOLOGY は、SYNOLOGY の製品に保管されたデータまたは情報が安全であり、データ消失の危険がないことを保証したり具体的に放棄したりしません。SYNOLOGY は、カスタマに製品に保管するデータをバックアップするなど、適切な対策を実施するよう勧めています。州/司法管轄区によっては、暗示保証の制限を許可しないため、上述の制限がカスタマに適用されない場合があります。

## 第 4 条 - 責任の制限

**4.1 不可抗力。** 適切に制御できない原因または条件（カスタマの作為または不作為を含みこれに限定しない）により本保証が定める義務の不履行または遅延が発生した場合、Synology は、本保証に対して一切責任を負わない、または本保証の違反または不履行と見なされません。

**4.2 特定損害の放棄。** いかなる場合も SYNOLOGY およびそのサプライヤは、製品、付属の文書またはソフトウェア、および本書に基づいて提供されるその他の品物またはサービスの使用または使用しないことにより発生する偶発的、間接的、特別、懲罰的、結果的、または同等の損害（データ、情報、収益、利益またはビジネスの喪失を含みそれに限定されない）を補うための費用について、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、SYNOLOGY がその損害の可能性について知らされている場合においても一切の責任を負いません。

**4.3 責任の制限。** 本製品、付属の文書またはソフトウェア、および本保証に基づいて提供される品物またはサービスの使用、または使用できないことから生じる、SYNOLOGY およびそのサプライヤの責任は、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、負う損害の額面に関わらず、製品の購買に実際に費やした額面に限定します。前述の特定損害の放棄、および責任の制限は、準拠法の許す範囲で最大限に適用されます。州および／または管轄の法律によっては、暗示保証の除外または特定損害の除外または制限を許可していない場合があります。本製品に適用されるそれらの法律の許す範囲で、上述の除外および制限がカスタマに適用されない場合があります。

## 第5条 - その他

**5.1 所有権。** 本製品および製品付属のソフトウェアおよび説明書には、Synology および第三者サプライヤおよびライセンサーの所有権および知的所有権が含まれています。Synology は、製品のすべての権利、権限、知的所有権を保有および保留します。製品、付属のソフトウェアまたは説明書、および本保証に基づいて提供されるその他の物品に含まれる、または対する権利、所有権または知的所有権は、本保証の下でカスタマに移譲されません。お客様は、(a) Synology または Synology の正規代理店または販売店が提供するソフトウェアに付属する Synology エンドユーザー用の使用許諾契約書の利用規約に準拠し、(b) 製品またはそのコンポーネント、付属のソフトウェアをリバースエンジニアを試みる、またはその他の方法で Synology の知的所有権に不適切に回避、または違反してはいけません。

**5.2 譲渡。** お客様は、本書に基づく自身の権利を、直接、法律の運用または他の方法により、Synology から事前に書面による承諾を得ずに譲渡してはいけません。

**5.3 追加条件なし。** 本保証で明確に許可した場合を除き、他の当事者が発注書、領収書、承認書、確認書、通信、その他の方法で作成した本保証のあらゆる条項、条件、条項と衝突するその他の規定に対して、両当事者が制約される、当事者の片側が特別に対象となることはありません。ただし、各当事者が書面においてそのような条項に特別に同意している場合は除きます。また、本保証が製品に関連する当事者と締結した別の契約書の利用規約と衝突する場合、他の契約書が本保証の条項に優先されることを特別に言及している場合を除き、本保証が優先されます。

**5.4 準拠法。** 現地法で明確に禁止する場合を除き、本保証は抵触法の原則に関係なく、米国在住者のお客様の場合は米国ワシントン州の法律に準拠し、米国に在住していないお客様の場合は中華民国（台湾）の法律に準拠します。1980年に採択された国際物品売買契約に関する国際連合条約又はその後続は適用しません。

**5.5 紛争の解決。** 本製品またはお客様間の関係に対して Synology が提供する本保証、製品またはサービスから生じる、または関連する、いかなる紛争、論争、または主張も、ユーザーが米国に住居する場合は、米国仲裁協会（American Arbitration Association）の現行の商事規則に従って単独かつ最終的に仲裁解決されるものとなります。ユーザーが米国以外に住居する場合は、以下を参照ください。仲裁は単一の調停者の前で実施され、カスタマと Synology の間の紛争のみに限定されます。仲裁または仲裁の一部は、その他の仲裁に合併されず、集団または集団代表ベースでは実施されません。仲裁は、書類の提出、電話、オンラインまたは当事者の要請により、調停者の決定した個人により、米国ワシントン州キング郡で実施されるものとなります。米国または非米国の仲裁またはその他の訴訟では、勝訴した当事者は、その当事者が支払う仲裁費用を含むすべての費用や妥当な弁護士料金を受け取るようになります。そのような仲裁の手続きで行われた決定は最終的で、当事者を拘束するものであり、その結果に従って適格な司法管轄権の裁判所において裁定が行われる可能性があります。この条項がない場合、カスタマは裁判所を通じて紛争の訴訟を起こす権利を有しており、これには、集団または集団代表ベースでの請求を要求する訴訟の権利が含まれていることをカスタマは理解していますが、カスタマは明示的および意図的にこれらの権利を放棄し、第 5.5 条に従って、拘束力のある仲裁を通じて紛争を解決することに同意したことになります。米国以外のお客様の場合、紛争は R.O.C. 仲裁法および関連施行規則の手順に従って 3 人の中立調停者により実施される仲裁により、最終的な解決が行われます。仲裁は台湾 R.O.C. の台北で行われ、仲裁の手続きは英語で行われ、両当事者が同意する場合は、北京語で行われるものとなります。仲裁裁定者は最終的で、当事者を拘束するものであり、司法管轄権を持つ裁判所において強制力を持ちます。本条のいかなる部分も、Synology が差し止めによる救済またはその他の権利および Synology の知的財産権に関連する本保証の不履行またはその脅威に対する法律または衡平法における救済手段の要求を禁止または制限しないこととします。

**5.6 弁護士費用。** 本保証におけるいかなる仲裁、調停、その他の法的行為、または権限または救済手段を行使する際、勝訴した当事者は、他の救済措置に加えて、その費用および適切な弁護士料金を回収する権利があります。

**5.7 輸出規制。** 本製品は、米国の輸出規制の対象です。ユーザーは、米国輸出管理規則を含みこれに限定されない、本製品に適用されるすべての準拠法および規定を準拠することに同意したと見なされます。

**5.8 契約の分離。** 本保証に、管轄裁判所で無効、不法、または法的強制力がないと判断された条項がある場合においても、本保証の残りの部分は有効に存続します。

**5.9 完全合意。** 本保証は、本件に関する Synology とお客様との間のすべての同意を制定し、あらゆるおよびすべての事前同意に優先します。本保証の条項に対する訂正、修正、または権利放棄は、実施する当事者が署名する法的文書で制定されていない限り、拘力はありません。

## **FCC Declaration of Conformity**

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.